

## 令和4年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	令和4年6月27日（月）北海道防衛局第1・第2会議室
委員	菊地 均（大学名誉教授） 神谷奈保子（大学客員教授） 大浦 崇志（公認会計士） 北守 一隆（大学名誉教授） 中野 雅文（弁護士）

### 防衛省発注機関が締結する契約（建設工事等）に関する協議

審議対象期間	令和4年1月1日～令和4年3月31日	
審議対象件数	36件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	6件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出事案の概要説明 3 抽出事案の審議
一般競争契約	5件	
指名競争契約	0件	
随意契約	1件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答	<b>【抽出案件】</b> <b>①千歳試験場（3）消音施設新設機械その他追加工事</b>  ・ 随意契約に至る経緯を説明されたい。	・ 当初本件消音施設は設計・施工一括方式により工事全体を発注する計画であったが、予算の都合上、前工事と後工事に分割せざるを得なかった。本工事は後工事に該当するものであるが「前工事との一体性に鑑み前工事の受注者以外に後工事への参加希望者がいないことを確認した上で」随意契約を行ったものである。

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般管理費の算出方法を説明されたい。</li> <li>・ 妥当と認めた理由を説明されたい。</li> <li>・ 局で積算している金額に率が掛かっているのは何故か。</li> <li>・ 設計・施工一括発注ということは、すでに全ての内訳も出来ているということか。</li> </ul> <p><b>②稚内（３）局舎新設等機械工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1者応札になった要素と予定価格の積算方法を説明されたい。</li> <li>・ 過去も少ない応札者なら、事前に声を掛けたりとかはしないのか。</li> <li>・ 見積活用方式で落札率が高くなるということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総価契約単価合意方式のため、業者見積であり、その金額に妥当性を認めた次第である。</li> <li>・ 一般的な工事の経費率と比べて妥当と判断した。</li> <li>・ 前工事との一体性を鑑み、前工事の落札の率を掛けた。</li> <li>・ そのとおりである。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H28 からこの地区での「管工事」の実績は4件ほどあるが、応札者はそれぞれ1者から3者しかいない。背景としては、地元のAランクが3社しかおらず、札幌や旭川といった都市から遠いことから、不成立等を防ぐためにも、局舎地区と宿舎地区を合わせて参加を募った。さらに、見積活用方式を適用し、多くの応札を求めたが、残念ながら応札者は1者だった。</li> <li>・ こういう工事があると稚内地区で過去に受注実績がある業者にご案内というかたちで伝えた。</li> <li>・ 見積の妥当性が確認出来た単価を採用している。何社かあれば、平均値をだして単価になるところだが、今回は1者のため、どうしても価格は近くなる。</li> </ul>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<p><b>③稚内（３）局舎新設等電気その他工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応札者の評価点があまりに違うのは何故か。</li> <li>・ 落札率が高いのは何故か。</li> <li>・ 一般管理費が先ほどの事案は14%で今回は9%なのは何故か。</li> <li>・ それでも落札率が高くなるのか。</li> </ul> <p><b>④稚内（３）設備工事監理業務</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回目の入札で不調になった理由を知りたい。</li> <li>・ 再公告の内容の違いは何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業の技術力と配置予定技術者の技術力に関して大きく違うのは、過去の実績を考慮したためである。</li> <li>・ 見積活用方式を採用したためである。</li> <li>・ 「公共建築工事共通費積算基準（制定：国土交通省大臣官房官庁営繕部）」で出している一般管理費等率を採用しているため、電気、通信工事の一般管理費等率と機械工事の一般管理費等率は異なる。</li> <li>・ 単価は見積活用方式を適用し、経費は公表されている「公共建築工事共通費積算基準（制定：国土交通省大臣官房官庁営繕部）」を採用しているのので、同じように積算できると思料する。</li> <li>・ 3者中、1者は内訳書の不備により無効になり、2者は予定価格超過で2回目の入札で2者とも辞退した。</li> <li>・ 当初の参加条件は「電気」Aランク又はBランクだったが、再公告では、参加条件を「電気」「機械」又は「通信」でAランク又はBランクに緩和した。</li> </ul>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答</p>	<p>・落札した業者以外、皆高い金額であるが、その理由はあるか。</p> <p><b>⑤稚内（３）宿舎改修等建築工事</b></p> <p>・落札した業者以外は無効となっているが理由は何か。</p> <p>・低入札価格調査を行った上で落札しているが問題なく施工が出来るのか。</p> <p><b>⑥帯広（３）保管庫新設建築その他工事</b></p> <p>・本事案は、一般競争だが６者も参加している。参加業者数が多くなった要因で検討したものはあるのか。</p> <p>・業者の構成比率は帯広が多いのか。</p>	<p>・各社の旅費の出し方が違うのではないかと思料される。局の積算は「国家公務員等の旅費に関する法律」に基づき積算しているが、業者によっては航空機を使用した積算を行っているところもあり、算出方法が異なっている。</p> <p>・施工体制確認の段階でヒアリングを辞退されたため、無効となった。</p> <p>・この工事は、建具改修とユニットバス改修が工事費の多くを占めており、受注者は、長年の実績からこれらを安価に入手できるものであり、いずれも標準的な仕様なので工事の品質等に問題はないと考えている。</p> <p>・道東地区の登録業者は、札幌圏に比べ少ないため、HPでの発注情報の周知や変更の都度お知らせを行ったりしているところ。昨年度は地元企業の参加意欲向上のため、建設業協会などに赴き、地元企業に対し今年度の発注情報のお知らせを含めた説明会を開催し、当支局業務や入札契約制度等への理解を深めた。</p> <p>・６者中４者が地元帯広で、他が札幌と旭川の業者であった。</p>

	意見・質問	回 答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的に入札価格が1番低い業者が落札したが、評価点(A)が1番高かった業者と逆転しているので、評価の部分の考え方と落札決定に至った経緯を知りたい。</li>   <li>・1者辞退の理由は何か。</li>   <li>・保管庫の具体的な用途を知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価の項目として、(a)企業の能力、(b)配置予定技術者の能力、(c)企業の信頼性・社会性、その他となっているが、予定価格の範囲内に入った3社は技術評価点として大きな差が開かなかったため、技術評価点と入札価格の総合的な評価値は、最も入札価格の低い業者が最高値となり落札となった。</li>   <li>・契約保証に係る与信調査を保証会社に依頼したところ本社審査となり時間が掛かるため、入札(契約)時に間に合わない可能性が高かったことから辞退したとのこと。</li>   <li>・帯広駐屯地に配備される予定の特殊車両の車庫と通信機器を保管する倉庫を兼ね備えている建物である。</li> </ul>

2. 談合疑義案件の処理状況について				
談合疑義案件	0 件		(審議概要) 処理状況を報告	
○委員からの意見・質問	意見・質問		回 答	
○それに対する回答等	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			
3. 再苦情処理 (再説明請求回答)				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数 0 件		(備考)	
建	一般競争(政府調達協定対象外)	件		
設	公募型指名競争	件		
工	指名競争	件		
事	随意契約	件		
建設コンサルタント業務等		件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答	意見・質問		回 答	
	・なし			
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし			